

平成 21 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

| | | |
|--|----------------------------------|--|
| 研究領域名 | 現代社会の階層化の機構理解と格差の制御：社会科学と健康科学の融合 | |
| 領域代表者名 | 川上 憲人 （東京大学・大学院医学系研究科・教授） | |
| 研究期間 | 平成 21 年度～ 25 年度 | |
| <p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>本研究領域は、社会科学と健康科学を統合した新しい融合学術領域を確立し、社会の階層化と健康の社会格差のメカニズムの解明と格差制御の方策の検討を目指している。世界的経済危機を迎え、我が国においても社会的格差は従来とは質的、量的に異なった局面を有している一方で、健康と社会的要因の間の因果関係は不明瞭な状況にある。その解決に当たっては、従来とは異なる発想に基づくアプローチが必要であると考えられ、社会的意義の強いテーマとして期待される。社会的要因と健康の因果関係を明らかにするためには、社会疫学の研究者を中心に、社会学、経済学、公衆衛生学の研究者からの学際的協力関係が必要であり、その意味においても、本研究領域の果たす役割は大きいと考えられる。領域推進の計画においては、チャレンジングな試みとして、共通の議論の土台としての全国規模の多目的共通パネル調査が計画されており、調査企画段階からの緊密な学際的協力に基づき、調査方法を綿密に練り上げて遂行することで、日本の学術研究の資産となるような成果とデータベースの構築が期待される。</p> | | |